

中西準子氏 令和3年度横浜国立大学プラウド卒業生に選出される

国大化学会会長 横山幸男（昭和49年電化卒）

中西準子氏は、令和3年度横浜国立大学プラウド卒業生に選ばれました。国大化学会よりあらためてお祝い申し上げます。中西準子氏は昭和36年に本学工学部化学工業科（旧応用化学科）を卒業され、環境リスク管理およびリスク評価の先駆者・第一人者として活躍されています。記憶に新しいところでは、ダイオキシンやビスフェノールAなどに代表される外因性内分泌かく乱物質（環境ホルモン）、福島第一原発事故由来放射性物質、豊洲のベンゼン騒動のような土壌汚染など現代社会に根付く多くの環境問題にどう向き合うべきか、長きにわたる研究に基づく独自のリスク論を確立し、環境行政に対して冷静沈着にして的確な指導や提言を行い、社会的に大きな影響を与えてこられました。氏のここまでの経歴・業績等の歩みを以下に紹介します。

履歴・業績等

- 1957年 神奈川県立湘南高等学校卒業
- 1961年 横浜国立大学工学部化学工業科卒業
- 1967年 東京大学大学院化学系研究科合成化学専攻博士課程修了（工学博士）
- 1967年 同大学工学部都市工学科助手
- 1990年 同大学環境安全センター・工学系大学院都市工学専攻課程助教授
- 1993年 同教授
- 1995年 横浜国立大学環境科学研究センター教授
- 2001年 同大学大学院環境情報研究院教授、産業技術総合研究所化学物質リスク管理研究センター長併任
- 2002年 産業技術総合研究所化学物質リスク管理

研究センター長、横浜国立大学大学院教授併任2004年まで

- 2008年 産業技術総合研究所安全科学研究部門研究部門長
 - 2011年 横浜国立大学名誉教授
 - 2011年 産業技術総合研究所フェロー
 - 2015年 産業技術総合研究所名誉フェロー
- 現在に至る。

受章・受賞歴

- 2003年 紫綬褒章
 - 2010年 文化功労者
 - 2013年 瑞宝重光章
 - 2021年 日本学士院会員
- その他、藤田賞、環境科学会学術賞、日本リスク研究学会学会賞、横浜文化賞（学術）など多数。

主要著書等

「都市の再生と下水道」日本評論社（1979）（藤田賞）、「下水道—水再生の哲学」朝日新聞社（1983）、「飲み水があぶない」岩波書店（1989）、「いのちの水」読売新聞社（1990）、「東海道水の旅」岩波少年文庫（1991）（吉村証子賞）、「水の環境戦略」岩波書店（岩波新書）（1994）、「環境リスク論」岩波書店（1995）、「環境リスク学—不安の海の羅針盤—」日本評論社（2004）（第59回毎日出版文化賞、第5回日経BP・BizTech図書賞）、「食のリスク学—氾濫する「安全・安心」をよみとく視点」日本評論社（2010）